



12月  
14・15日

**押し花アート作品展**



**色とりどりの  
草木を使った  
風景画などを展示**

守山市文化協会主催ではり絵と押し花の合同展示会が市民ホールで行われました。押し花で作られた風景画やコラージュ作品はり絵作家の作品など約100点が展示され、来場者はそのあでやかな様子に見入っていました。会場では押し花体験も行われ、参加者は見本のカードなどを見ながらピンセットで押し花を配置し、自分好みの作品を仕上げました。

12月  
13日

おくだ せいいち  
**奥田 誠一 現代美術展**



**大庄屋諏訪家屋敷で  
歴史遺産の座敷に  
和紙を使った人形**

これまで市民ホールで行われてきた守山市文化体育振興事業団主催の現代美術展が、今年は市文化財の大庄屋諏訪家屋敷で開催されました。

焦げた和紙を張り合わせた絵画や人形など、さまざまな作品が座敷や庭園茶室に配置され、主張しながら調和する不思議な空間を創造していました。

12月  
22日

**中学生がボランティア清掃活動**



**公園の造成拡大へ  
活用への夢を広げ  
中学生ら美化活動**

木浜内湖公園の造成拡大の取り組みとして、地域の中学生25人による清掃活動が行われました。公園は今後、交流や防災の拠点、環境学習、健康づくりなど、周辺自治会との連携を図る交流の場としても活用される予定です。

また、今回清掃作業に参加した中学生からも活用方法を提案してもらい、老若男女が集う公園にしたいとしています。

12月  
21日

むらた かずや  
**村田 和哉のジュニアサッカー教室**



**子どもたちに  
夢の大切さを語り  
熱血指導**

守山市文化体育振興事業団の主催で、ビッグレイクで行われ約170人の小学生が参加しました。守山ふるさと大使でJリーグの村田和哉選手は「1日5分でもいいから継続して練習することが大事」と、練習の心がまえを伝えた後、子どもたちと一緒にミニゲームに参加。子どもたちのプレーをほめながらフイイントをかけるタイミングなどを熱心に指導していました。

**守山市の人口**

令和元年12月31日現在  
(前月比)

人口	83,746	(+ 32)
男	41,306	(+ 6)
女	42,440	(+ 26)
世帯数	32,693	(+ 32)

とでも身近に感じるようになった▼トルコ語や文化を学習し、選手たちが守山市に来た時には、しっかりと「おもてなし」ができるように準備をしておきたいと思う。そして、いつかトルコに旅行に行つて美味しいスイーツを満喫したいと思う。(下)

**双眼鏡**

いよいよ東京2020オリンピックピック・パラリンピック競技大会が開催される年である。決定した2013年9月のことがついでこの前のように感じるが、早くも6年3カ月の年月が経過、いろいろあった新国立競技場も完成した▼守山市はトルコ共和国の共生社会ホストタウンに登録しており、市内小中学校や会館などでは、トルコの文化を学ぶ取り組みが進められている。私もイベントで「バフラヴァ」というトルコのスイーツを試食し、市役所で昼休みに聴く、トルコ語紹介の放送でもとても身近に感じるようになった▼トルコ語や文化を学習し、選手たちが守山市に来た時には、しっかりと「おもてなし」ができるように準備をしておきたいと思う。そして、いつかトルコに旅行に行つて美味しいスイーツを満喫したいと思う。(下)